



東川町長
松岡市郎

年頭のあいさし

皆さん、新年あけましておめでと
うございます。平素から、町民の皆
様のご支援とご協力に対しまして、
深く感謝とお礼を申し上げます。

農業の分野では、昨年は稔り豊か
な秋を迎えることができましたが、
米価および野菜価格の低迷、過剰米
処理対策として米円滑化推進対策が
初めて発動されたこと等から心から
喜び合うことができない年になりま
したことは誠に残念であります。

また観光分野でも厳しい経済事情
や知床世界遺産登録などもあり、入
り込み客も伸びず、商工業におきま
しても大きな消費の純増には至らず
総じて厳しい状況にありました。

このような状況の中で、「一衣帯
水」の隣国、中国では北京オリンピ
ック特需や上海万博への準備、海外
資本による事務所や工場立地、住宅
建設ラッシュで沸いています。発展
を続ける隣国との貿易の可能性調査
は価値のあることと考えています。
本町の農業者が素晴らしい生産環境
の中で、自信と誇りを持って生産し

た農産物と匠の技で製造した家具ク
ラフトの輸出、豊かな大雪の観光資
源等を生かした観光客の誘客に向か
って果敢に挑戦して行くことも検討
しなければならぬと考えていま
す。

今年も少子高齢化、そして日本の
国の人口が減少する傾向の中で、本
町は概ね人口8,000人を目標と
して老若男女の皆さんの「繁栄、安
全・安心、幸福（教育を含む）」の
向上を目指して最高の町づくりを目
指しております。現在、人口は昨年
の11月末で7,697人（2年前の
同月7,556人）と141人の増
加に転じております。

今年は今までの事業評価を徹底し
て行うとともに見直しを行い、「5
つの連携」に重点を置き、行政の展
開を図って行きますので、ご支援と
ご協力をお願い申し上げます。

少子高齢化時代における持続可能
な自立に向けた連携
少子高齢化社会と日本の人口が減



東川町議会議長
石上 郁

年頭のあいさし

新年、明けましておめでとござ
います。

輝かしい平成18年の新春を迎え、
町民のみなさんに謹んで年頭のご挨拶
を申し上げます。

初日に映える秀峰旭岳の雄々しい
姿を仰ぎみて、新しい年への期待と
希望を抱き、ここに皆さんとともに
新春を迎えることができましたこと
を心から慶びたいと思います。

かえりみみずと昨年は、全国的に
幼児、児童が巻き込まれる凶悪事件
などが続発し、大きな社会問題とな
りました。幸いなことに本町では、
そのような不幸な事件は発生しなかつた
ものの、子供達をとりまく社会
環境が、より一層安全で安心できる
ものとなるよう改めて問われること
となり、児童や生徒への防犯や安全
確保対策の重要性を強く感じさせら
れる年ではなかったかと思えます。

世界の動きでは、わが国をとりま
く国際的な環境もますます厳しいも
のとなつてきており、中国や韓国な
どの近隣諸国との友好関係の維持発
展においても、困難な局面に立たさ
れております。さらに、依然として
混乱状況が続いているイラク情勢を

少する中で、各関係機関や団体等との
連携強化により持続可能な自立で
きる町づくりを進めて行きます。
ア、住民との連携 地域コミュニ
ティ活動の支援と地域間の格差のな
い開発整備に努めます。

イ、自治体間の連携 近隣の自治
体との広域連携の強化を図り、行政
コストの縮減と住民サービスの拡大
に努めます。
ウ、国、道、財団等との連携 国
等に対して積極的に提案し、「地方か
ら発信」を基本として、事業の展開
と共催に努めます。

エ、学校との連携 北工学園、旭
川大学など地域にある学校と連携を
深め、住民の皆様のご幸福づくりに努
めます。
オ、民間との連携 民間企業等と
も連携を深め、共益の視点から各種
の事業展開に努めます。

今年も、「水を大切に使う生活」、
「ゴミを減らす生活」、「明るい挨拶
のある生活」、「交通安全が守ら
れる生活」、「花で飾る生活」の5
つを重点として日常生活の運動とし
て展開してまいりますので、住民の
皆様のご参加をお願い申し上げます。
最後になりますが、5つの連携と5
つの住民運動の展開に深いご理解と
ご支援、ご参加をお願い申し上げます。
2006年が最高の年になりますよ
うにご祈念し、新年のご挨拶と致し
ます。

りある生活を送り、豊かな地域社会
を創造していくことが私たちの大き
な願いです。今、地方自治体は、三
位一体改革や地方分権の大きな流れ
のなかで、大変厳しい環境にありま
すが、行財政改革の推進はもとより、
自立と活性化にむけて、住民一人ひと
りが自分たちの足元をしっかりと
見つめ、自主自立の心を養い、すべ
ての力を合わせて、新しい東川町の
まちづくりをすすめていくことが求
められております。

町議会といたしましても、町民の
皆さまとともに、このかけがいのな
い東川町の魅力をさらに磨き上げ、
地域の振興や活性化に全力を尽くし
てまいりますので、今後とも変わら
ぬお力添えをお願いいたします。

平成18年が、町民の皆さんにとり
まして、また東川町にとりまして
も、すばらしい年であることをお祈
り申し上げます。年頭のごあいさ
つといたします。



東川百景より「大雪山の清浄」松倉直樹